



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成26年9月26日

上場会社名 株式会社ハイデイ日高 上場取引所 東
 コード番号 7611 URL http://www.hiday.co.jp/ir/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 均
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画部長 (氏名) 島 需一 TEL 048-644-8030
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月10日 配当支払開始予定日 平成26年11月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	17,108	8.0	2,162	5.4	2,170	6.2	1,280	4.8
26年2月期第2四半期	15,839	8.7	2,051	1.6	2,043	1.3	1,221	4.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	76.74	—
26年2月期第2四半期	73.21	—

(注) 平成26年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第2四半期	22,057	16,137	73.2
26年2月期	20,393	15,103	74.1

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 16,137百万円 26年2月期 15,103百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	18.00	—	18.00	36.00
27年2月期	—	18.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年2月期の業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,560	8.0	3,900	4.2	3,850	3.9	2,200	2.9	131.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ： 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | ： 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | ： 無 |
| ④ 修正再表示 | ： 無 |

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	16,724,150株	26年2月期	16,724,150株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	41,950株	26年2月期	38,317株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	16,683,067株	26年2月期2Q	16,686,675株

(注) 平成26年3月1日付けで1株につき1.2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数及び期末自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成26年10月1日（水）13時30分より機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定です。説明資料等については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間のわが国経済は、政府と日銀による経済・金融政策等により企業収益と雇用情勢に改善の動きが見られるなど、緩やかな景気回復基調にあるものの、海外景気の下振れリスク等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業においては、消費税率引き上げに伴う節約意識の高まりや原材料価格・電気料金の上昇、労働力人口減少に加え景気回復傾向にともなう人件費関連コスト等の上昇もあり、引き続き厳しい経営環境となっております。

このような環境のもとで、当社は顧客ニーズに合致する季節メニューの投入、サービス水準の向上や着実な新規出店を行い、収益拡大を図ってまいりました。

店舗展開については、15店舗出店（東京都5店舗、埼玉県3店舗、神奈川県4店舗、千葉県3店舗）とFC店舗から直営店舗への移行が1店舗、退店は4店舗となりましたので、8月末の直営店舗数は353店舗となりました。

販売面においては、季節メニューとして、「黒酢しょうゆ冷し麺」「和風つけ麺」、ヘルシー志向のメニューとして「トマト酸辣湯麺(サンラータンメン)」「トマト冷し麺」などの投入、夏季としては初めて「チゲ味噌ラーメン」を投入しました。サービス水準向上に向けた取り組みとしては、調理・接客や社内資格の取得者増加に向けた研修強化などを行いました。4月からの消費税増税に際しては「中華そば」（税込390円）など一部商品の販売価格は据え置きました。これらの結果、既存店の売上高は好調に推移し、3月～8月累計の売上高前年同期比は101.4%となりました。

生産・原価面につきましては、食材の購入価格の上昇や昨年の行田工場増設に伴う減価償却費の増加もありましたが、原価率は27.3%（前年同四半期は27.4%）となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、光熱費の増加や、新規店舗15店舗（前年同四半期は22店舗）の初期費用があり、また、フレンド社員（パート・アルバイト社員の当社における呼称）への定期賞与支給などにより人件費が増加しました。これらの結果、対売上高比は60.0%（前年同四半期は59.7%）となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における売上高は171億8百万円（前年同四半期比8.0%増）、営業利益は21億62百万円（前年同四半期比5.4%増）、経常利益は21億70百万円（前年同四半期比6.2%増）と増収増益になりました。

特別損失には減損損失など合計で43百万円を計上しましたので、四半期純利益は12億80百万円（前年同四半期比4.8%増）となりました。

なお、飲食店チェーン関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしていません。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末の総資産は、220億57百万円となり前期末に比べて16億64百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加によるものです。

負債合計は59億20百万円となり前期末に比べて6億30百万円増加しました。これは長期借入金の約定返済、固定負債その他（長期未払金）の減少があったものの、主に流動負債その他（未払消費税等）の増加によるものです。

純資産合計は、161億37百万円となり前期末に比べ10億34百万円増加しましたが、負債の増加もあり自己資本比率は73.2%（前期末74.1%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は28億62百万円（前年同四半期は17億89百万円）となり、前年同四半期に比べて10億72百万円の増加となりました。これは、税引前四半期純利益、減価償却費、未払消費税等が増加したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は11億9百万円（前年同四半期は11億87百万円）となりました。これは、新規出店や改装等に伴う有形固定資産の取得による支出4億98百万円（前年同四半期は行田工場増設も含め20億10百万円）、敷金及び保証金の差入による支出1億72百万円（前年同四半期は2億24百万円）等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は4億45百万円（前年同四半期は4億65百万円）となりました。これは長期借入金の返済1億30百万円（前年同四半期は1億40百万円）、配当金の支払額2億50百万円（前年同四半期は2億64百万円）等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の店舗数については新規出店26店舗、退店6店舗を予定しており、平成27年2月末の店舗数は361店舗を見込んでおります。既存店の動向などを踏まえ、通期業績予想については、平成26年4月4日に開示した数値からの変更はありません。なお、当第2四半期末の剰余金の配当(中間配当)は、予想として公表しました1株当たり18円といたしました。期末配当は、1株当たり18円を計画しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,831,352	5,579,530
売上預け金	164,225	223,215
売掛金	22,060	24,546
店舗食材	141,075	139,318
原材料及び貯蔵品	23,649	26,643
その他	666,061	588,633
流動資産合計	4,848,424	6,581,888
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,443,201	10,696,849
減価償却累計額	△4,033,339	△4,319,118
建物（純額）	6,409,861	6,377,731
構築物	110,863	110,863
減価償却累計額	△43,218	△49,206
構築物（純額）	67,645	61,657
機械及び装置	1,762,183	1,833,544
減価償却累計額	△555,682	△700,889
機械及び装置（純額）	1,206,501	1,132,654
車両運搬具	6,840	6,840
減価償却累計額	△4,639	△5,282
車両運搬具（純額）	2,200	1,557
工具、器具及び備品	1,396,271	1,529,714
減価償却累計額	△994,282	△1,088,020
工具、器具及び備品（純額）	401,988	441,694
土地	1,689,493	1,689,493
リース資産	597,232	501,699
減価償却累計額	△469,679	△426,695
リース資産（純額）	127,552	75,004
建設仮勘定	1,101	1,772
有形固定資産合計	9,906,344	9,781,565
無形固定資産	59,690	56,425
投資その他の資産		
投資有価証券	85,129	103,203
敷金及び保証金	4,137,372	4,205,486
その他	1,377,678	1,350,507
貸倒引当金	△21,329	△21,209
投資その他の資産合計	5,578,851	5,637,988
固定資産合計	15,544,886	15,475,978
資産合計	20,393,310	22,057,867

(単位:千円)

	前事業年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成26年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	675,958	778,399
1年内返済予定の長期借入金	225,500	155,250
リース債務	97,553	70,664
未払法人税等	725,089	895,625
賞与引当金	287,590	317,707
転貸損失引当金	—	3,600
その他	1,363,562	1,936,031
流動負債合計	3,375,254	4,157,278
固定負債		
長期借入金	450,000	390,000
リース債務	45,253	14,963
退職給付引当金	506,000	508,866
転貸損失引当金	—	5,700
資産除去債務	478,847	498,729
その他	434,390	344,720
固定負債合計	1,914,491	1,762,978
負債合計	5,289,746	5,920,257
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,625,363	1,625,363
資本剰余金	1,701,680	1,701,680
利益剰余金	11,799,420	12,829,468
自己株式	△19,770	△27,429
株主資本合計	15,106,693	16,129,083
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,129	8,526
評価・換算差額等合計	△3,129	8,526
純資産合計	15,103,564	16,137,610
負債純資産合計	20,393,310	22,057,867

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	15,839,502	17,108,038
売上原価	4,332,899	4,677,207
売上総利益	11,506,602	12,430,831
販売費及び一般管理費	9,455,294	10,268,600
営業利益	2,051,307	2,162,231
営業外収益		
受取利息	994	513
受取配当金	7,667	8,309
受取賃貸料	1,013	338
保険差益	2,749	—
保険解約返戻金	—	6,142
その他	8,130	7,157
営業外収益合計	20,556	22,461
営業外費用		
支払利息	4,266	3,342
固定資産除却損	15,232	6,381
リース解約損	314	304
その他	8,233	4,243
営業外費用合計	28,046	14,272
経常利益	2,043,817	2,170,420
特別利益		
固定資産売却益	1,466	—
特別利益合計	1,466	—
特別損失		
固定資産除却損	1,917	—
固定資産売却損	324	—
リース解約損	—	601
減損損失	17,073	31,014
転貸損失引当金繰入額	—	11,800
特別損失合計	19,315	43,415
税引前四半期純利益	2,025,968	2,127,004
法人税等	804,344	846,668
四半期純利益	1,221,624	1,280,335

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,025,968	2,127,004
減価償却費	597,972	701,564
減損損失	17,073	31,014
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△120	△120
賞与引当金の増減額(△は減少)	15,478	30,116
退職給付引当金の増減額(△は減少)	16,404	2,865
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	-	9,300
受取利息及び受取配当金	△8,662	△8,822
支払利息	4,266	3,342
固定資産除売却損益(△は益)	15,120	3,977
売上債権の増減額(△は増加)	△3,060	△2,486
たな卸資産の増減額(△は増加)	△30,964	△1,238
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△17,991	63,042
仕入債務の増減額(△は減少)	93,631	102,440
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△27,910	546,786
その他	△5,595	△75,190
小計	2,691,611	3,533,597
利息及び配当金の受取額	8,822	8,674
利息の支払額	△4,015	△3,191
法人税等の支払額	△906,730	△676,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,789,687	2,862,409
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△50,000	△500,000
定期預金の払戻による収入	1,050,000	-
有形固定資産の取得による支出	△2,010,685	△498,334
有形固定資産の売却による収入	2,272	-
無形固定資産の取得による支出	△6,345	△8,888
敷金及び保証金の差入による支出	△224,918	△172,123
敷金及び保証金の回収による収入	55,017	73,260
その他	△3,012	△3,728
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,187,671	△1,109,813
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△140,250	△130,250
リース債務の返済による支出	△60,342	△57,178
自己株式の取得による支出	△972	△7,658
配当金の支払額	△264,220	△250,341
財務活動によるキャッシュ・フロー	△465,784	△445,428
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	136,231	1,307,167
現金及び現金同等物の期首残高	3,587,386	3,990,578
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,723,617	5,297,746

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

①業態別売上高

(単位：千円)

業態区分	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)			(参考) 平成26年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
日高屋	313	15,187,848	95.9	331	16,354,093	95.6	320	30,653,954	95.8
その他業態	20	604,038	3.8	22	722,912	4.2	21	1,240,805	3.9
その他	—	47,614	0.3	—	31,033	0.2	—	102,985	0.3
計	333	15,839,502	100.0	353	17,108,038	100.0	341	31,997,745	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 各業態の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

3. 「日高屋」は、「中華そば日高屋」「中華食堂日高屋」「来来軒」を含めております。

4. 「その他業態」は、「焼鳥日高」等を含めております。

5. 「その他」は、FC向けの売上高等を含めております。

②地域別売上高

(単位：千円)

地域区分	前第2四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)			当第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)			(参考) 平成26年2月期		
	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比	店舗数	金額	構成比
東京都	176	8,549,776	54.0	178	9,000,019	52.6	176	17,193,630	53.7
埼玉県	90	4,012,153	25.3	95	4,200,336	24.6	91	7,914,467	24.7
神奈川県	40	1,947,536	12.3	47	2,315,473	13.5	43	4,105,461	12.8
千葉県	26	1,287,941	8.1	32	1,547,267	9.0	30	2,702,559	8.5
栃木県	1	42,094	0.3	1	44,942	0.3	1	81,625	0.3
計	333	15,839,502	100.0	353	17,108,038	100.0	341	31,997,745	100.0

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 地域別売上高の店舗数は、当該期末時点の数値を記載しております。

③開設店舗及び閉鎖店舗

〔開設店舗〕

- | | | | | |
|----------------|----------------|---------------|-----------|-------------|
| 1. 蘇我東口店 | 2. 早稲田西口店 | 3. 鶴見西口店 | 4. 日野駅前店 | 5. 春日部東口駅前店 |
| 6. 希望ヶ丘店 | 7. 焼鳥日高 西川口東口店 | 8. 本八幡北口駅前店 | 9. 田町西口店 | 10. 武蔵小山店 |
| 11. 読売ランド前駅南口店 | 12. 岩槻ワッツ店 | 13. 焼鳥日高 鶴ヶ峰店 | 14. 両国東口店 | 15. 市川北口店 |

〔閉鎖店舗〕

- | | | | |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|
| 1. 焼鳥日高 東池袋1丁目店 | 2. 本八幡北口店 | 3. 新宿御苑前店 | 4. 水道橋東口店 |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|

(注) 店舗名のみは「日高屋」であります。なお、FC店舗であった川越岸町店は4月に直営店舗へ移行しております。